

自己評価アンケート集計（職員）

5：よくできている 4：まあまあできている 3：あまりできていない 2：できていない 1：わからない

（5点満点）

基本方針	基本的方向	施策	取組	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	R6年度	R5年度
予測困難な時代を生き抜く力を育む教育の推進	「確かな学力」の育成	学力向上の推進	1. 指導計画の作成及び観点別評価と指導の一体化	5	37	7	1	8	3.5	3.6
			2. 生徒の多様性に対応した授業	16	36	4	1	1	4.1	4.1
		国際理解を深める教育	3. 外部試験（GTEC等）の活用	8	9	9	6	10	3.0	2.5
			4. AIタイムの充実	15	15	8	6	14	3.2	3.5
			5. アートマイル等、海外校との交流	8	16	5	5	24	2.6	3.4
		情報活用能力の育成	6. 教員がICT機器を用いて行う授業	9	25	13	8	3	3.5	3.6
			7. 生徒が主体的にICT機器を活用する授業	3	20	19	10	6	3.1	3.2
	「豊かな心」の育成	人間力の育成	8. 生徒会活動の活性化	9	33	4	1	11	3.5	3.6
			9. 生徒主体の文化祭	15	35	4	1	3	4.0	3.9
		体験活動の推進	10. 研修(修学)旅行等、校外学習の活性化	16	32	4	0	6	3.9	3.7
	「健やかな体」の育成	心・技・体の醸成	11. 生徒主体の体育大会・スポーツ大会	16	31	4	2	5	3.9	3.7
			12. 活動方針に基づいた部活動の実施	10	26	8	3	11	3.4	3.0
		健康教育・安全教育	13. 登下校等の安全確保	4	37	4	4	9	3.4	3.8
			14. WBGTを活用した熱中症対策	17	24	10	0	7	3.8	3.5
特別支援教育の推進	多様な学びの充実	15. 一人一人の多様な教育的ニーズに応じた教育の充実	12	35	6	2	4	3.8	3.9	
	一貫性のある支援体制の構築	16. 特別な配慮や支援を必要とする生徒への対応	12	36	7	0	4	3.9	4.0	
子どもたちの環境の充実	教職員の資質・能力の向上	教職員の働き方改革の推進	17. 校務支援システムの運用	10	24	12	1	11	3.4	3.4
			18. 定時退勤や業務効率化への取組	13	13	13	14	5	3.3	2.8
	学校の組織力の強化	情報共有	19. 情報セキュリティー徹底、情報資産管理	7	28	8	9	6	3.4	3.6
		いじめ・不登校への対応	20. いじめアンケートによる早期発見・対応	19	31	2	1	5	4.0	3.7
	学校・家庭・地域との協働による豊かな学びの推進	家庭との協働	21. PTAとの連携	8	26	8	1	15	3.2	3.4
		地域への情報発信	22. HPやClassiを活用した情報の発信	15	27	9	0	7	3.7	4.0
			23. 授業公開やオープンスクールの実施	10	34	10	1	3	3.8	4.0
	多様性の尊重	子ども多文化共生教育の充実	24. 母語による支援の充実	21	25	6	2	4	4.0	
			25. 日本語指導の促進	22	24	7	0	5	4.0	
	安心・安全の確保	学校安全の取組の充実と危機管理態勢の整備	26. 安全に関する教室・講演会の実施	11	33	3	3	7	3.7	
27. 定期的・日常的な点検の実施			7	25	12	4	10	3.3		
28. 災害に備えた学校防災体制の充実			7	30	8	6	6	3.5		

令和6年度 兵庫県教職員資質向上指標による自己点検

分野	資産	教員としての資質の向上に関する指標	評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	R6年度	R5年度
学習指導	授業実践力 授業改善力	1. 学校教育目標や生徒の実態を踏まえた年間指導計画を作成し、計画的に授業を進めることができる。	11	33	6	2	2	3.9	3.8
		2. 学習指導要領の目標や内容に基づき、生徒の実態に応じた授業を設計することができる。	11	33	8	0	2	3.9	3.9
		3. 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。	12	31	8	1	2	3.9	3.8
		4. 評価規準等に基づき、生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。	6	35	6	1	6	3.6	3.8
学級経営・ 生徒	集団を高める力	5. いじめ、不登校などの教育課題の緊急性や重要性を理解し、その予防・解決に取り組むことができる。	11	28	4	0	11	3.5	4.0
		6. 学年・学級目標の実現に向け、学級経営案やホームルーム計画の立案・実行・改善ができ、生徒が安心して過ごせる学級づくりに取り組むことができる。	9	25	8	1	11	3.4	3.3
	一人一人の能力を高める力	7. 生徒との適切な距離を保ちながら、生活背景や内面の理解に努め、カウンセリングマインドとストレスマネジメントに基づく指導を行うことができる。	13	32	4	2	3	3.9	4.1
チームで組織を担う	協働性・同僚性	8. 「教職員の勤務時間適正化推進プラン」をもとに、ワーク・ライフ・バランスや勤務時間の適正化を意識しながら、計画的に仕事を進めることができる。	13	27	6	8	0	3.8	3.5
		9. 生徒への指導等に関して、同僚・先輩や管理職等に相談し、指導に生かすことができる。	15	35	1	2	1	4.1	4.0
	組織的対応力	10. 校内における自分の役割を認識し、校務分掌を的確かつ効率的に遂行できる。	10	34	3	2	5	3.8	4.1
		11. 校内の情報を適切に管理し、取り扱うことができる。	9	39	1	3	2	3.9	4.2
		12. 学校安全のための危機管理を理解し、事件や事故、トラブルに適切に対応することができる。	10	31	5	3	5	3.7	4.0
資質を高める 自立性	自己管理能力 変革力	13. 日頃から、ストレスマネジメントに努めるとともに、教員として自覚ある行動をとることができる。	13	33	4	3	1	4.0	4.2
		14. 適切な言動を心がけ、生徒や保護者等からの信頼確保に努めている。	19	29	0	3	3	4.1	4.1
		15. 日々の実践等を振り返り、主体的に自らの教育活動の工夫・改善に努めている。	15	31	6	1	1	4.1	4.1

学校評価アンケート集計（生徒）

4：そう思う 3：少し思う 2：あまり思わない 1：そう思わない （4点満点 但し項目4は2点満点）
（質問項目4については、2：はい 1：いいえ）

内容	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	R6年度	R5年度
1 授業に熱心に取り組むことができた。	164	158	26	5	3.4	3.3
2 予習・復習等の家庭学習の習慣がきちんと身についた。	80	152	89	32	2.8	2.7
3 AIや総合的な探究の授業に熱心に取り組むことができた。	166	148	31	7	3.3	3.4
4 部活動を続けていますか。			232	118	1.7	1.6
5 部活動に熱心に取り組むことができた。 （部活動に入っていた人のみ）	173	57	26	14	3.4	3.4
6 文化祭に積極的に取り組むことができた。	269	69	7	6	3.7	3.7
7 体育大会に積極的に取り組むことができた。	244	86	17	6	3.6	3.5
8 校外学習に積極的に取り組むことができた。	263	76	9	4	3.7	3.7
9 授業について満足している。	44	241	60	8	2.9	3.0
10 授業・部活動以外の学校生活について満足している。	129	190	29	4	3.3	3.4

学校評価アンケート集計（保護者）

4：そう思う 3：少し思う 2：あまり思わない 1：そう思わない （4点満点）

内容	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	R6年度	R5年度
1 授業に熱心に取り組むことができた。	67	96	26	7	3.1	3.3
2 学校生活全般を楽しく過ごしていた。	150	36	6	4	3.7	3.6
3 文化祭等の学校行事やスポーツ大会等の生徒会活動に積極的に取り組んでいた。	136	53	4	2	3.7	3.7
4 部活動に熱心に取り組んでいた。 （お子様が入部していた方のみ）	113	26	8	4	3.6	3.6
5 子どもを芦屋国際中等教育学校で学ばせてよかった。	128	59	5	2	3.6	3.7
6 異なる国籍・言語・文化背景を持った友だちと学ばせてよかった。	170	23	1	0	3.9	3.9